はじめに

「受験古文」の最終目標は、**「初見の古文の文章を辞書なしで読めて、問題が解けること」**です。
そのために必要な三つの要素は、**「文法・単語・読解のルール（古文常識・作品常識含む）」**です。
三つの要素のうち、「文法」と「単語」が古文の土台となるところです。
「古文ができない」、「読めない」という人のほとんどは、この「文法」と「単語」がきちんとできていません。
この講座は、その土台の一つである**「文法」をしっかり身につけるための講座**です。

本講座は**「ベーシックレベル」**ですが、「基本だけ学ぶ」という意味ではありません。
基本から説明をして、実際の大学入試の文法問題も解ける力がつくように構成しています。

他レベルの『文法講座』との大きな違いは、
- **各チャプター時間が短時間**〔チャプターの途中で集中力が切れてしまわないように。〕
- **用例ごとの例文が豊富**〔なるべく有名な文章から取り上げました。学校の授業で見かける文もあるはず。〕
- **問題数が多い**〔同じような問題でも、たくさん実施することにより、より記憶に定着させるため。〕
- **大事なことは繰り返し説明**〔何度も同じことを聞くことにより、自然と復習していることになる。〕
- **丁寧にじっくり解説**〔わかる人には冗長に感じるかも。ですが、**「じっくり確実に！」**の姿勢で。〕

あとは、テキスト解説部分の文字も大きく読みやすくしています。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

他の文法講座より講数が多いのは、前述（例文・問題数が多いが、じっくり解説）の理由からです。
よって、身に付く内容は「ベーシックレベル」でも、他の文法講座となんら違いはありません。
全24講をきちんと仕上げたとき、大学入試文法問題を解く力はもとより、
大学入試レベルの文章を読むための土台の力も、十分についています！

現時点で「古文なんて、何書いているのかさっぱりわからないから大嫌いだ」という人は、なんの問題もありません。
一番恐ろしい勘違いは、「古文なんて日本語なんだから、勉強しなくてもどうにかなる」と思ってしまうことです。
断言しておきますが、勉強しておかないと、絶対にどうにもなりません。
「古文＝日本語」だと思っている人がいるならば、**「古文＝外国語」**だというくらいイメージを変えましょう。
ただし、**コツさえつかめば**、外国語を学習するよりも**ずっと簡単に、ずっと楽に「点取り科目」にすることができる。**
それが、古文のオイシイところです。

本講座で文法のコツをしっかりをつかんで、是非、古文を得点源の科目にしましょう！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予復習・授業の受け方について

予習は一切不要です。
ノートも不要です。
テキストと筆記用具さえあれば大丈夫です。
テキストへの書き込みで授業をすすめていきます。

テキスト中に〔**例題**〕や「**問題**」がありますが、講義中に問題を指定しますので、該当問題を適宜解いてください。
「はじめに」にも記載した通り、各チャプターは比較的短時間ですが、必然的に、講ごとのチャプター数は多いです。
よって、１日で１講を全て仕上げなくても、区切りのよいところで、日にちを分けて受講してもかまいません。

講義を見終えたら、復習を必ずしてください。
特に**太字**や**空欄**に**自分で書き込んだところ**に重点を置いて、覚えこむまで何度も復習してください。

復習が終われば、各講の後ろにある「**復習問題**」を解きましょう。
復習問題は何度でもできるように、答えは直接書き込まないようにしてください。
万一間違えた場合は、テキストの該当箇所に戻って復習をしてから、再度「復習問題」を解き直しましょう。
記憶を定着させるツールとして、何回でも使用してくださいネ！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第十四講　係助詞／間投助詞……p. 5
第十五講　接続助詞／「て」の識別……p. 22
第十六講　格助詞⑴……p. 36
第十七講　格助詞⑵／終助詞……p. 46
第十八講　「ばや」の識別／副助詞……p. 59
第十九講　「し」の識別／「なむ」の識別……p. 69
第二十講　「に」の識別……p. 81
第二十一講　呼応の副詞……p. 92
第二十二講　敬語の種類／（敬語）「本動詞」と「補助動詞」……p. 106
第二十三講　２種類ある「敬語」……p. 121
第二十四講　３種類の「聞こゆ」／敬意の方向……p. 133

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講　係助詞／間投助詞

係助詞（ぞ・なむ・や・か・こそ・は・も）

★係り結びの法則

●ぞ・なむ・や・か→「　　　」形

●こそ→「　　　」形

※「結びの語」＝形を変える部分＝文末

⇩

係助詞の上を確認→「　　　」又は「　　　」の部分

その部分が複数の単語で構成されている場合は、

品詞分解をして活用する「　　　」の**一単語**のみ。

（例）

夜半（よは）にや君がひとり越ゆらむ

男はこの女をこそ得めと思ふ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部の係助詞に対応する結びの語を抜き出し、その終止形を書け。

①　さることやありし。

②　ことば多からぬこそ、飽かず向かはまほしけれ。

③　心なむまさりたりける。

④　花こそ咲けれ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　「かひ屋が下も蛙（かはづ）鳴くなり」の「『も』の字」とは何助詞か。最も適切なものを次の中から選べ。

ア　格助詞
イ　間投助詞
ウ　係助詞
エ　接続助詞
オ　副助詞

問三　次の空欄ａ・ｂ・ｃには係助詞が入る。ａ・ｂ・ｃをうめる組合せとして最も適当なものを、後の中から選べ。

起きておさへたる［ａ］、少しやすまる心地する。
「今宵ばかりにて［ｂ］あれ。」
さもあることと［ｃ］思ひけむ。

ア　ａ　こそ　　ｂ　や　　ｃ　か
イ　ａ　こそ　　ｂ　ぞ　　ｃ　や
ウ　ａ　や　　ｂ　ぞ　　ｃ　こそ
エ　ａ　なむ　　ｂ　こそ　　ｃ　や
オ　ａ　なむ　　ｂ　や　　ｃ　か

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　空欄 A ・ B に入る語の組み合わせとして、最も適当なものを後の中から選べ。

にほひ A 少なかりし。

「ここにと B は書きたまはめ」

ア　A　ぞ　　B　や
イ　A　ぞ　　B　こそ
ウ　A　こそ　B　こそ
エ　A　こそ　B　や

問五　「これや夢ときの女のもと A 。」の空欄Aに入る語として適当なものを、次の中から選べ。

ア　なら　　イ　なり　　ウ　に　　エ　なる　　オ　なれ

問六　「隆家こそいみじき骨を得て A 。」の空欄Aに入る最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　はべら　　イ　はべり　　ウ　はべれ　　エ　はべる　　オ　はべろ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「学文して花実ならび進まんこそよかる［A］」の空欄Aにふさわしいように、助動詞「べし」を正しい活用形にして記せ。

問八　次の空欄Aには「あり」、空欄Bには「む」を活用させた語が入る。それぞれ適切に活用させて、記せ。

清水に二千度参りたることのみなむ［A］。

「書きて渡さばこそ、受け取ら［B］」と…

A＝　　　　B＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「意味」

●ぞ・なむ・こそ→「　　　　」

※訳出不要

（例）鳥こそ鳴け。

〈訳〉「鳥　　　　」

●や・か→「　　　（＝～か）」もしくは、「　　　（＝～か、いや、～ない）」

※「疑問」か「反語」のどちらかは、**文脈判断**が必要。

（
目安として、
後ろに答えが**有**＝「　　　」
後ろに答えが**無**＝「　　　」
）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）（羽根という場所に来たときに、幼い子供が）「羽根といふ所は、鳥の羽のやうにやある。」と言ふ。
まだをさなき童の言なれば、人々笑ふ…

※「　　・　　」＝**反語**が多い。

（例）（かぐや姫が月に帰り、会えなくなってしまった帝が詠んだ和歌の下の句）
死なぬ薬も何にかはせむ

※「　　語」＋「や・か」＝**反語**が多い。

（例）憂き世に何か久しかるべき。

※「〜　　」・「〜　　」＝**反語**。（**和歌**で多用）

（例）わが恋を人知るらめや。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　「春来てぞ人も訪ひける」の傍線部は助詞だが、その文法的意味として正しいものを次の中から選べ。

ア　断定　　イ　強意　　ウ　禁止　　エ　疑問　　オ　反語

問十　「いづこの御いらへかはあらむ」の現代語訳として正しいものを、次の中から選べ。

ア　どのように御返事申し上げようか

イ　どなたに御返事したらよいか

ウ　もちろん御返事などあるわけがない

エ　どうしてこんな御返事をなさるのだろう

問十一　「落とさせたまはんやは」とは、どのような意味か。最適なものを次の中から選べ。

ア　お落としになりそうだった。

イ　お落としになるはずがあろうか。

ウ　お落としにならないのであろうか。

エ　お落としになるのはよくないことだ。

オ　お落としになってもよかったのではないか。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★**「結びの省略」**→係助詞の「　　」の**一文字**確認

●**に**＋{ぞ・なむ}、。→「　　」を補う

●**に**＋{や・か}、。→「　　」を補う

●**に**＋こそ、。→「　・　」を補う

●**と**＋係助詞、。→「（　　）・（　　）」を補う

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十二　「参ればにや」の後に補う語句として最適なものを、次の中から選べ。

ア　あらむ　　イ　あらめ　　ウ　ありけり　　エ　ありけれ

問十三　「いづくにか」の後に省略されているものを、次の中から選べ。

ア　来める　　イ　あらん　　ウ　参らばや　　エ　あらじ　　オ　多かりし

問十四　「昔の契りも深くこそ。」の後に語を補う場合、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　あり　　イ　ある　　ウ　あらむ　　エ　あらめ　　オ　ありけり

★「結びの流れ（消失・消滅）」

本来結びとなる語に、接続助詞などが付いて、結びがなくなり先へ続いていくこと。

（例）たとひ耳鼻**こそ**切れ失すとも、命ばかりはなどて生きざらむ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十五　次の各傍線部「こそ」の説明として、最も適当と思われるものを、後の中からそれぞれ選べ。

「よろづのこと、さまに従ひて こそ(1) めやすけれ。〈中略〉御声 こそ(2) 惜しみ給ふとも、少しけ近くだに「こそ(3)」などいさめ聞こえ給へど…

ア　係りに対して正しく結ばれ、強調文として終止する。
イ　係りに対して正しく結ばれ、強調文として逆接的に下に続く。
ウ　係りに対して正しく結ばれ、強調文として反語の表現となる。
エ　係りに対して結びが流れ、強調文として終止する。
オ　係りに対して結びが流れ、強調文として逆接的に下に続く。
カ　係りに対して結びが流れ、強調文として反語の表現となる。
キ　係りだけで、その部分を強調提示する。
ク　係りだけで、言外に逆接的な意味を暗示する。

1＝
2＝
3＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十六　次のA～Dの傍線部「こそ」の結びの説明として、最も適当と思われるものを、後の中からそれぞれ選べ。同じ記号を複数回使ってもよい。

さしむかひたる歌ども取るこそ(A)、かへすがへすさまあしく候へ。
（当世の歌を〈まねて言葉を〉取るのは、本当にみっともないことです。）

ことばをやさしくとりなしてよめとこそ(B)候ひしを、口にまかせて、人まねうちして、…
（言葉を優美に取り扱って詠めとございましたのに、口にまかせて、人真似などをして、…）

歌のすがたもみな変り候ふにこそ(C)。
（歌の姿もみな変わっていくのです。）

やさしき心ことばをこそ(D)、今の世にも上手とおぼゆる人々は、このみよみあはれ候ふめれば、むかし今、かはるべきにもあらず。
（優雅な心や言葉を、現代でも歌の名人と思われる人々は、好んで詠みあっていらっしゃるようですので、昔も今も、変わるはずのものではない。）

ア　活用する語の終止形で終止している。
イ　活用する語の連体形で終止している。
ウ　活用する語の已然形で終止している。
エ　結びの語、あるいはそれを含む文節全体が、文中にあらわれていない（結びの省略）
オ　結びの語で文が終わらず、接続助詞を伴って続いているため、係り結びが成立していない（結びの流れ）

A＝
B＝
C＝
D＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「逆接強調法」

「文中」の「こそ…已然形、〜」→　訳出の時に「…　　　　、〜」などの「　　　　　　」を補う。

（例）中垣**こそ**あれ、一つ家のやうなれば、…
（仕切りの垣根はある　　　　、一つの家のようであるので、…）

★「危惧の用法」

●もぞ
●もこそ
＝「〜したら　　　　・　　　　」と訳す

（例）雨も**ぞ**降る。
（　　　　　　　　　　　）

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十七　「顕証にて出でひろめかばこそはあらめ、さるべきかくれ…」の傍線部の解釈として、最適なものを次の中から選べ。

ア　人目に付くほど出歩いたりすることもあるだろうし
イ　人目に付くほど出歩いたりすれば差し障りがあろうが
ウ　人目に付くほど出歩いたりすれば困ったことになるので
エ　人目に付くほど出歩いたりすることはないだろうから

問十八　「人もこそ聞け」の解釈として、最も適当なものを次の中から一つ選べ。

ア　人に聞かれたら困ったことだ
イ　人に聞かれてしまうかもしれない
ウ　人に聞かれることはあるまい
エ　人に聞かれてもかまうことはない
オ　人に聞かれるとどうしようもない

問十九　「けしからぬ者などはのぞきもぞする。」の傍線部の現代語訳として最もふさわしいものを、次の中から選べ。

ア　排除しかねます
イ　のぞくこともあります
ウ　排除などできるでしょうか
エ　のぞき見したら困る
オ　排除するでしょうか、いやしません

間投助詞（や・よ・を・こそ）

★「こそ」の意味

① 呼びかけ（～さん）
「人物**こそ**。」

（例）「右近の君**こそ**、まづ物見給へ。」

★「や」・「よ」・「を」の意味

① 詠嘆（～なあ）
② 強調（訳出不要）
③ 呼びかけ（～よ）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十四講

① 「子持ちてこそ、親の心ざしは思ひ知る［A］。」の空欄Aに入る語として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　なり　　イ　らむ　　ウ　なれ　　エ　べし

② 次の空欄［A］に当てはまる語として最も適当なものを、後の中から選べ。

世人、「長面進士」とぞいひ［A］。

ア　けり　　イ　ける　　ウ　けれ　　エ　き

③ 「劣りてやはある」の「や」の文法的意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　当然　　イ　推量　　ウ　強意　　エ　反語

④ 「左衛門の陣などの方にや」の後に補う言葉として最適なものを、次の中から選べ。

ア　ありけむ　　イ　ありけめ　　ウ　あるべし　　エ　あれ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤「袖をひろぐるわざをし侍るにこそとうち思ひて…」の傍線の係助詞「こそ」は結びが省略されている。補うべき語句として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　あらめ　　イ　あはれめ　　ウ　つつめ　　エ　ながめ　　オ　ならめ

⑥「殿のうちをだに人あまたしてこそ歩きたまへ、ただひとところ帰りたまふに、…」の傍線部の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるので
イ　屋敷の中までも人を大勢連れてお歩きになれば
ウ　せめて屋敷の中だけでも人を大勢連れてお歩きにならなければ
エ　屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるのに
オ　せめて屋敷の中だけでも人を大勢連れてお歩きください

⑦「思ひもぞつくとて、この女を…」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　女は一途な思いなど実はないのだろうと
イ　親の思いも無視するだろうと
ウ　若い男の思いもその時かぎりだろうと
エ　きっと女の策略だと思って
オ　女に対する思いが強くなると困ると思って

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

模範解答

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講　模範解答

問一　①　し…き　②　まほしけれ…まほし　③　ける…けり　④　れ…り
問二　ウ
問三　エ
問四　イ
問五　エ
問六　ウ
問七　べけれ
問八　A　ある　B　め
問九　イ
問十　ウ
問十一　イ
問十二　ア
問十三　イ
問十四　エ
問十五　1　ア　2　オ　3　キ
問十六　A　ウ　B　オ　C　エ　D　オ
問十七　イ
問十八　ア
問十九　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十四講　模範解答・解説

〔解説〕

① 空欄補充で文末の場合は、係助詞が絡んでいることが多いので上をざっと確認する。「こそ」があるので、空欄Aは已然形。選択肢の中で已然形はウのみ。よって、正解はウ。

② ①同様、上を確認すると「ぞ」があるので、空欄Aは連体形。選択肢の中で連体形はイのみ。よって、正解はイ。

③ 係助詞「や」は疑問か反語。「やは」は反語になる場合が多い（あくまでも多いなので、本当は文脈判断が必要になるのだが、まずは反語から考えるとよい）。今回は、選択肢に疑問がないので、必然的にエの反語が正解。

④ 結びの省略の問題。係助詞「や」の上が「に」なので、多くは「あらむ（あらん）」が省略されている。が、選択肢に「あらむ」がないので、次に考えることは「や」の結びは連体形。選択肢の中で連体形になっているものはアのみ。よって、アが正解（本設問は、未来の「む」ではなく、過去の「けむ」になっている例）。

⑤ 結びの省略の問題。上が「に」で、係助詞が「こそ」なので、「あらめ」が省略されている。よって、正解はア。

⑥ 「こそ～たまへ、…」なので、逆接強調法。選択肢の中で最後が逆接になっているのがエのみ。よって、正解はエ。

⑦ 「もぞ」は「～したら大変だ・困る」の意味。その解釈ができているのはオのみ。よって、正解はオ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔解答〕

①　ウ

②　イ

③　エ

④　ア

⑤　ア

⑥　エ

⑦　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。